

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C61280-1-4</b>	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	76 81 134 など	1  3.6		ed	“ファイバ”の用語が用いられている。	“光ファイバ”に変更する。	変更します。
渋谷隆 2	114	3		ge	JIS C 61281-1 に光サブシステムの用語が定義されている。	JIS C 61281-1 を引用する。	対応国際規格に合わせております。
					追記して点線下線を付与すれば IDT は保たれます。		追記はせず、対応国際規格どおり、このままとします。
渋谷隆 3	145	3.9		ed	“手法 “は方法を想像させる。3.11 では” プロセス “を用いている。	“プロセス”に変更する。	・“technique”を「手法」と訳しております。
						Technique であれば技術では？	「技法」に変更します。
渋谷隆 4	207	5.1.4		ed	“いずれにせよ”は不要ではないか。	“いずれにせよ”を削除する。	“In any case”の訳として「いかなる場合でも」に変更します。
					意識は許されている。“いずれにせよ “はしつこい感じがする。		削除します。
渋谷隆 5	212	5.1.4		ed	“悪い “は規格には不適切である。	“大きい”に変更する。	変更します。
渋谷隆 6	214	5.1.4		ed	“時には”は規格には不適切である。	“補正マトリクスは、検出器供給業者が提供する場合がある。”に変更する。	変更します。
渋谷隆 7	235	5.1.5	注記 2	ed	注記に“望ましい”の推奨表現が用いられている。	推奨表現が必要であれば、本文に移動する。注記を維持する場合は、推奨表現をやめる。	「注意を払っている。」に変更します。
渋谷隆 8	246 247	5.1.6		ed	“光減衰器”と“減衰器”が混在している。	“光減衰器”に統一する。	「光減衰器」に統一します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 9	255	5.1.7		ed	JIS C 5962 に“光ファイバコネクタ”及び“フェルール”が定義されている。	“光ファイバコネクタ（以下、光コネクタという。）フェルール”に変更する。	変更します。
渋谷隆 10	273	5.1.8		ed	JIS では能動態表現を用いる。	“取り付けられる。“を”取り付ける“に変更する。	規定文ではないので、このままとします（Z8301 H.1 参照）。
渋谷隆 11	278	5.1.9		ed	JIS では能動態表現を用いる。	“使用される”を“使用する”に変更する。	規定文ではないので、このままとします。
渋谷隆 12	282	5.1.9		ed	“スペクトル的に広い”は、不適切である。	“スペクトル幅が広い“に変更する。	変更します。
渋谷隆 13	291	5.2.1		ed	“試験装置の入口”の“入口”は、“入力ポート”と同一か。	“入力ポート”又は“出力ポート”に変更する。	「入力ポート」に変更します。
渋谷隆 14	299	5.2.2		ed	“少なくとも長さが 10 m”は表現が分かりにくい。	“その長さが 10 m 以上”に変更する。	変更します。
渋谷隆 15	302	5.2.2		ed/te	“試験光ファイバコードのコネクタは、ファイバがマルチモードであっても、シングルモードの機械的公差をもつ。”の具体的な要求が分からない。かん合標準（JIS C 5964 規格群）は SMF 及び MMF で共通である。光学互換標準（JIS C 5965 規格群）は SMF と MMF とで異なる。 MMF の光学互換標準は JIS が揃っていない。	“JIS C 5964 規格群に適合しなければならない。光学互換標準は、IEC 63267 で規定する基準コネクタにすることが望ましい。“に修正し、戦線下線を付与する。さらに、注記で説明する。解説にその旨を記載する。	対応国際規格に合わせております。
						技術的に不十分です。JIS を修正し、対応国際規格の修正を提案してください。	対応国際規格の次回改訂時に提案することとします。
渋谷隆 16	313	5.2.3		ed	JIS では能動態表現を用いる。	“選択されなければならない。“を”選択しなければならない。“に変更する。	変更します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C61280-1-4</b>	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 17	325	5.2.3		ed	“ファイバ加振器に出入りするファイバ端部は”は回りくどい表現である。	“ファイバ加振器の入出力ポートは”に変更する。	対応国際規格を再確認し、ファイバ端部を固定する目的となる表現なので、固定する部分を明確にするため、現状のままとします
渋谷隆 18	326	5.2.3		ed	JIS では能動態表現を用いる。	“安定化される。“を”安定化する。“に変更する。	対応国際規格を再確認し、「安定化されている。」に変更します。
渋谷隆 19	327	5.2.3		ed	JIS では能動態表現を用いる。	“拡大光学系に伝達されないように、試験装置の他の部分から機械的に分離される。”を““拡大光学系に伝達しないように、試験装置の他の部分から機械的に分離する。”に変更する。	変更します。
渋谷隆 20	338	5.3		ed	OTDR のフル用語がない。	“Optical Time Domain Reflectometer (OTDR)”に変更する。	変更します。
渋谷隆 21	343	6		ed	“使用した試料及び準備した試験手順書を記録しなければならない。”は目的語がない。	“試験報告書などに”を追加する。	対応国際規格を再確認し、「使用した試料及び準備した試験手順を文書にしなければならない。」に変更します。
渋谷隆 22	346	6		ed	“レーザを認定する場合、レーザ駆動電流は、レーザが発光ダイオード (LED) としてではなく、常にレーザとして動作することを確実にするために十分でなければならない。”がわかりにくい。	“光源に半導体レーザを用いる場合、レーザ発振するた、駆動電流は、その閾値電流よりも十分に高くしなければならない。”に変更する。	主語の位置を変えて、“レーザを認定する場合、レーザが発光ダイオード (LED) としてではなく、常にレーザとして動作することを確実にするために、レーザ駆動電流は、十分でなければならない。”に変更します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 23	349	7		ed	“試験装置の校正は、この測定試験手順の正確さのために重要である。” 測定手順が正確なのか。	“この試験の不確かさを小さくするために、試験装置の校正は重要である。”に変更する。	対応国際規格を再確認し、「この測定手順の精度にとって、装置の校正は、重要です。」に変更します。
渋谷隆 24	358	7		ed	“受け入れられる校正方法”の意味が分かりにくい。	“適用可能な校正方法”に変更する。	変更します。
渋谷隆 25	368	8.2.1.1		ed	“画像の取得は、エンサークルドフラックスの測定の中心である。” “中心”は幾何学的な意味以外では使わない方が良い。	“もっとも重要なプロセスである”などに変更する。	対応国際規格を再確認し「画像の取得は、エンサークルドフラックス測定の重要なプロセスである」に変更します。
渋谷隆 26	372	8.2.1.1		ed	“いずれにせよ、”は不要である。	削除する。	“In any case”の訳として「いかなる場合でも」に変更します。
渋谷隆 27	375	8.2.1.2		ed	“少なくとも 100 サイクルに”の表現は分かりにくい。	“100 サイクル以上”に変更する。	変更します。
渋谷隆	379	8.2.1.2		ed	“検出器の飽和”が分かりにくい。	“検出器の最大受光パワーを超える光パワーを受受光する”に変更する。	対応国際規格を再確認し、スペックルノイズによる飽和を防止する目的なので、現状のままとします。
						スペックルノイズによる飽和に変更願います。	「スペックルノイズによる飽和」に変更します。
渋谷隆 28	391	8.2.2		ed	“ダークレベル”と“黒レベル”の用語が混在している。	用語を統一する。	ダーク (dark) と黒 (black) とは、使い分けております。
						解説で、できれば、注記で違いを説明することを推奨します。	解説に、違いを説明します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 29	401	8.3.1		ed	“マルチモード光ファイバのコアの光学中心に関して計算される。”	“マルチモード光ファイバのコアの光学中心に対して計算される。”に変更する。	変更します。
渋谷 隆 30	402	8.3.1		ed	“中心に関して”	“中心に対して”に変更する。	変更します。
渋谷 隆 31	405	8.3.1		ed	JIS では能動態表現を用いる。	“重心を見つけることによって決定される。”を“重心を見つけることによって可能である。”に変更する。	規定文ではないので、このままとします。
渋谷 隆 32	408	8.3.1		ed	JIS では“前述のとおり，”は使わない。	具体的な箇条を記載する。	「前述...(5.1.6)...のとおり，」に変更します。
渋谷 隆 33	412	8.3.2		ed	JIS では能動態表現を用いる。	“使用される画像である。”を“使用する画像である。”に変更する	規定文ではないので、このままとします。
渋谷 隆 34	423	8.3.3		ed	式(2)が引用されていない。	“しきい値 T を式(2)に従って計算する。”に変更する。	「しきい値 T を式(2)によって計算する。」に変更します。
渋谷 隆 35	426	8.3.3		ed	式(3)が引用されていない。	“式(3)に従って”を追記する。	「次の三つの総和を，式(3)によって計算する。」に変更します。
渋谷 隆 36	428	8.3.3		ed	式(4)が引用されていない。	“式(4)に従って”を追記する。	「重心 $X_0, Y_0$ を，式(4)によって計算する。」に変更します。
渋谷 隆 37	431	8.4		ed	“試験光源の画像を取得するには，試験光源を試験装置に接続し，試験光源に電圧を印加する。” 要求表現でなく，説明に思える。	“試験光源の画像を取得するために，試験光源を試験装置に接続し，試験光源に電圧を印加する。”に変更する。	変更します。
渋谷 隆 38	432	8.4		ed	“暖気してから”は誤解を与える。	“試験光源の特性を安定化するため，必要に応じて，試験の十分前に電源を投入してから，”に変更する。	対応国際規格を再確認し， 「必要に応じて試験光源を，試験の十分前に電源を

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C61280-1-4</b>	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							入れるなど暖気してから,」に変更します。
渋谷 隆 39	436	9.1		ed	“第 1 の計算ステップは, ”	わかりやすくするため、初めに計算ステップがいくつあるかを記載する。	対応国際規格を再確認し、「最初の計算手順は,」に変更します。
渋谷 隆 40	476	9.2.1		ed	“正当である。” は法律的な用語である。	“妥当である” 又は “十分許容できる” などに変更する。	「妥当である」に変更します。
渋谷 隆 41	477	9.2.1		ed	JIS では能動態表現を用いる。	“増加させるだけである。” を “増加するだけである。” に変更する。	能動態表現ですので、このままとします。
渋谷 隆 42	478	9.2.1		ed	JIS では能動態表現を用いる。	“設定しなければならない。” に変更する。	変更します。
渋谷 隆 43	524	11		ed	JIS では “べき” は用いない。	“満たさなければならない” に変更する。	名詞を修飾していますので、このままとします (Z8301 の表 4 の注によります。)
渋谷 隆 44	526	11		ed	JIS では能動態表現を用いる。	“EF が報告される半径” を “報告する EF の半径” に変更する。	変更します。
渋谷 隆 45	584 589	A.3		ed	“望ましい。” 附属書 A は (参考) であるが推奨が含まれている。	表現を変更する。	「望まれている。」に変更します。
渋谷 隆 46	585	A.3		ed	“くらいで点減させ”	“くらい” を削除する。	削除します。
渋谷 隆 47	826 827 828	C		ed	JIS では能動態表現を用いる。	次の表現を能動態に変更する。 “実現される。” “記録され”	規定文ではないので、このままとします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C61280-1-4</b>	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
	835					“保存される。” “計算され” “使用される。” “見られる点”	
山田 1	266	5.1.7		ed	光ファイバ端と記載されているが、263では「ファイバ面」、325では「ファイバ端部」となっている。「光」を「ファイバ」につける場合とそうで無い場合の、統一が必要だと考える。。	「ファイバ端」に修正。	“ファイバコア像”→“光ファイバコア像”、“ファイバ面”→“光ファイバ端面”、“光ファイバ端”→“光ファイバ短面”に変更します。
山田 2	293	5.2.1	図 2	ed	図中の「ファイバ」を「光ファイバ」或いは「光ファイバコード」に変更した方が良いのでは？	「ファイバ」を「光ファイバ」或いは「光ファイバコード」に変更	「光ファイバ」に変更します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6870-2-30</b>	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	152 161 162 170	3A.1		ed	JIS C 6820 の特定の箇条を引用している。	改正年を追記する。引用規格にも改正年を追加する。	修正案のとおりでよいと考えます。
渋谷隆 2	207 262	4.8 6.2		ed	JIS C 6838 の特定の箇条を引用している。	改正年を追記する。引用規格にも改正年を追加する。	修正案のとおりでよいと考えます。
渋谷隆 3	230	4.13		ed	IEC 60794-2:2002 が引用されているが、対応する JIS C 6870-2:2021 がある。	JIS C 6870-2:2021 に変更する。	IEC 60794-2:2002 には色を規定した表 1 がありますが、JIS C 6870-2:2021 にはそれに対応する表がありませんので、現行案のままです。  (もしくは JIS C 6870-2:2021 では 5.13 識別の項目に「可能な限り IEC60304 に適合した標準色を使用することが望ましい」とあるため、IEC60304 としてもよいかもしれませんが (IEC60304 が手元になく、IEC60304 の内容は確認していません)。)
渋谷隆 4	263	6.2		ed	IEC 60794-1-23 の方法が引用されている。	発行年を付与し、参考文献に記載する。	修正案のとおりでよいと考えます。
渋谷隆 5	268	6.3.1		ed	JIS C 6870-1-21 の方法が引用されている。	改正年を追記する。引用規格にも改正年を追加する。	修正案のとおりでよいと考えます。
渋谷隆 6	268	6.4		ed	JIS C 6870-1-22 の方法が引用されている。	改正年を追記する。引用規格にも改正年を追加する。	修正案のとおりでよいと考えます。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。



委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 7	332	6.4	表 2	ed	「温度条件は、ケーブルの用途及び顧客の要求によって a)~d)の中から選択する。」は要求事項を含むため表の注が適切である。	表の注とする。又は 328 行に移動する。	修正案のどちらでも問題ありませんが、原文の IEC では表内に記載されている内容ですので、表の注とする対応がよいと考えます。
渋谷隆 8	332	6.4	表 2	ed	JIS X 5150 は特定の箇条が指定されていない。	年号を削除する。参考文献の年号を削除する。	修正案のとおりでよいと考えます。
渋谷隆 9	336	6.5.1		ed	JIS C 6850 の特定の箇条を引用している。	改正年を追記する。引用規格にも改正年を追加する。	修正案のとおりでよいと考えます。
渋谷隆 10	340 343 346 350 353 356 359 363	6.5.2 6.5.3 6.5.4 6.5.5 6.5.6 6.5.7 6.5.8 6.5.9	表 3 表 4 表 5 表 6 表 7 表 8 表 9 表 10	ed	注記の列は不要である。	注記の列を削除する。	修正案のとおりでよいと考えます。
渋谷隆 11	366	6.5.10	表 11	ed	最終行の注記列が空欄である。	必要事項を記載する。	原文 IEC も空欄になっているため、表 3~10 と同じように注記の列を削除することでよいと考えます。
渋谷隆 12	368	6.5.10		ed	注記が表 11 にだけ適用するのであれば、表 11 の注記とする。  表 3~表 11 のすべてに適用するのであれば、各表に注記として記載する。	表 11 の注記とする。  又は、表 3~表 11 の注記とする。	注記の適用は表 11 だけですが、表 11 の注記の列は削除するのがよいと考えますので、368 行の注記は現行案のままでよいと考えます。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6870-2-30</b>	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 13	373	6.6		ed	JIS C 3612 の特定の箇条を引用している。	改正年を追記する。引用規格にも改正年を追加する。	修正案のとおりでよいと考えます。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C0806-1</b>	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	25		図 1	ed	$L_1$ , $L_{\max}$ 及び $L_2$ がかすれている。	修正する。	修正いたします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	660	JA.2.5		ed	“利得は約 8.5 dB しか提供不可能である。”	“利得は約 8.5 dB にとどまる。” 又は “利得は約 8.5 dB しか得られない。” に変更する。	“利得は約 8.5 dB しか得られない。”に変更します。
渋谷隆 2	701	JA.3.1		ed	“これらの用途については、JA.3 に記載する。” 自身の箇条を指定している。	“この箇条 (JA.3) では、これらの用途を記載する。”に変更する。	ご提案の修正内容に変更します。
渋谷隆 3	707	JA.3.2		ed	“L バンドでは、EDFA 技術は C バンドに比べて”	“L バンドでは、EDFA 技術では C バンドに比べて”に変更する。	“L バンドでの EDFA 技術では、・・・”に変更します。
渋谷隆	714	JA.3.2		ed	“正味利得”	“ネット利得”に変更する。	ご提案の修正内容に変更します。
渋谷隆 4	738	JA.3.3.1		ed	“EDFA 技術の性能” “技術の性能”はおかしい。	“EDFA の性能” 又は “EDFA が実現できる性能” に変更する	“EDFA が実現できる性能”に変更します。
渋谷隆 5	744	JA.3.3.1		ed	“パッケージのコスト及び外形寸法の圧縮が可能となる。”	“パッケージのコスト抑制及び外形寸法の縮小化が可能となる。”に変更する。	ご提案の修正内容に変更します。
渋谷隆 6	796	JA.4.2.1		ed	“偏波多重のための” 偏波多重が目的になっている。 図 JA.7 に“偏波ビームコンバイナ”が含まれている。	“偏波ビームコンバイナで偏波多重する”に変更する。	ご提案の修正内容に変更します。
渋谷隆 7	807 834	JA.4.2.2 JA.4.2.5		ed	“波長 1 400 nm 台”	“波長 1 400 nm 代”に変更する。	ご提案の修正内容に変更します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6122-10-5</b>	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 8	807	JA.4.2.2		ed	“FBG 安定化励起レーザダイオード”	“FBG 波長 安定化励起レーザダイオード”に変更する。	ご提案の修正内容に変更します。
渋谷隆 9	824	JA.4.2.4		ed	“DOP は次の式で求められる。” 比率表示 (0~1) を使う場合がある。	“DOP (パーセント表示) は次の式で求められる。”に変更する。	ご提案の修正内容に変更します。
渋谷隆 10	836	JA.4.2.5		ed	“c は光の速度を表す。”	“c は真空中の光の速度を表す。”に変更する。	ご提案の修正内容に変更します。
渋谷隆 11	851	JA.4.2.6	図 JA.8	ed	“IL” は量記号である。	斜め字に変更する。	立体のままと致します。  (理由) 第2回部会の議論にて、題名や文意から明らかに物理量の場合は立体に変更とした経緯あるためです。
渋谷隆 12	878	JA.4.3.2		ed	“Gon-off (dB) =Son (dB) -Soff (dB) ”	定義のため、等号を“≡”に変更する。	ご提案の修正内容に変更します。
渋谷隆 13	905	JA.4.3.3		ed	“C バンド (波長 1 529 nm~1 564 nm) ”	“C バンド (波長 1 530 nm~1 565 nm) ”に変更する。	TR 原文に合わせて波長 1 529 nm~1 564 nm のままと致します。
渋谷隆 14	972	JA.5.4	図 JA.10	ed	“IEC/TR 61292-6”	“IEC TR 61292-6”に変更する。	ご提案の修正内容に変更します。  1064 行も同様に修正します。
渋谷隆 15	987	JA.5.4		ed	“光量”	“光パワー”に変更する。	ご提案の修正内容に変更します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	54	2		ed	JIS C 1002:1975 は、特定の箇条、表、図などが引用されていないため、年号は必要がない。	年号を削除する。	以降の改正・改訂を考慮し、確認した版（年号）を記載しています。
					JIS Z 8301 には、必要な場合だけ年号を付与するとの規定がある。引用された JIS が、技術の進歩に伴い改正された場合、最新版を引用することが好ましいと考える。JIS Z 8301 の規定はこの考え方を基にしていると考えている。	再考願います。 同様なコメントも同じです。	引用元を明確にして本規格の利用者の利便を図るため、行番号 130 の文章を、「～JIS C 6832:2019 の表 1 又は JIS C 6835:2017 の表 1 の規定による。」と変更します。なお、JIS C 1002, JIS Z 8103, JIS Z 8120 については、年号削除で構いません。
渋谷 隆 2	56	2		ed	JIS C 6839:2017 は、特定の箇条、表、図などが引用されていないため、年号は必要がない。	年号を削除する。	以降の改正・改訂を考慮し、確認した版（年号）を記載しています。
渋谷 隆 3	62	2		ed	JIS Z 8103:2019 は、特定の箇条、表、図などが引用されていないため、年号は必要がない。	年号を削除する。	以降の改正・改訂を考慮し、確認した版（年号）を記載しています。
渋谷 隆 4	63	2		ed	JIS Z 8120:2001 は、特定の箇条、表、図などが引用されていないため、年号は必要がない。	年号を削除する。	以降の改正・改訂を考慮し、確認した版（年号）を記載しています。
渋谷 隆 5	76	3.2	注釈 1	te	OTDR、OFDR など、光カブラを用いない反射減衰量測定器がある。	「典型的には」、「例」などを追加する。	注釈 1 の文言の先頭に、「この規格の対象となるのは、連続光反射率測定法を用いた装置のみであり、～」を追加します。
渋谷 隆 6	86	3.4		ed	3.2 に「光反射減衰量測定器」の用語が定義されており、用語「光反射器」が定義されていない。	3.2 の注釈に、「光反射器ともいう。」を追加する。	以下のように、注釈を追加します。「 <b>注釈 2</b> 光反射器は、光ファイバ伝播光を、一定の反射率で反射

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6189</b>	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							し、逆方向に伝播させるデバイスを目指す。」
渋谷隆 7	115	3.10		te	「かたより」が定義されていない。	「かたより」を定義する。	「かたより」の後ろに「(A.5 参照)」を追加します。
渋谷隆 8	122	4		ed	JIS C 60068-1 では、「標準大気条件」及び「標準基準大気条件」の用語が用いられている。	「標準大気条件」又は「標準基準大気条件」に変更する。	この箇条には、使用する光ファイバの条件が含まれているため、現状通りでお願い致します。
					JISC 6821 など光ファイバの JIS では、JIS C 60068-1 を引用し「標準大気条件」を用いている。	再考願います。	JIS C 60068-1 に規定されている標準大気条件の中には、表 1 に記載された条件も含め、本規格で定めた温度・湿度の条件に適合するものはありません。本規格の温度・湿度の条件は、光測定器試験方法に関する JIS 規格全体で最適と思われる値に統一して定めたものであり、拙速に変更することは避けたいと考えます。
					「光ファイバの条件が含まれている」の説明は撤回するのでしょうか。 ファイバオプティクス用測定器関連 JISC6182 ~ JISC6191 では全て“標準試験条件”を用いていることを確認しました。		光測定器試験方法に関する JIS 規格全般において、標準試験条件の一部として、使用する光ファイバを定めています。従って、本規格においても、光ファイバの条件を標準試験条件に含めた形で規格化したいと存じます。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6189</b>	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 9	138	5.1		ed	中心光波長を求める方法は包絡線（エンベロープ）法、3dB 減、重心など複数がある。	7.2.2 では重心計算方法を指定しているので、「中心光波長（重心光波長）」に変更する。又は注記で、この規格では光パワー重心法によって求める。7.2.2 参照、を追記する。	行番号 347 の 7.2.2 (b)の文章を、「中心光波長 $\lambda_c$ (nm) は光パワー重心法によって求めるものとし、式(24)によって算出する」と変更します。
渋谷 隆 10	171 173	5.4		ed	「百分率 (%) で表示した不確かさ」及び「パーセント表示不確かさ」の二つの用語が用いられている。	用語を統一する。	「百分率 (%) で表示した不確かさ」に統一します。
渋谷 隆 11	190	6.2.1		ed	「プラグ形及びピグテイル形」は、「プラグ形又はピグテイル形」の間違いではないか。	「プラグ形又はピグテイル形」に変更する。	「プラグ形又はピグテイル形」に変更します。
渋谷 隆 12	190	6.2.1		ed	「ピグテイル」を用いている JIS は 14 件、「ピグテール」を用いている JIS は 44 件ある。 JISC6191 波長可変光源試験方法では、「ピグテール」を用いている。	素案作成団体で用語を統一する。	この規格では「ピグテイル」で統一します。団体内での統一を働きかけます。
渋谷 隆 13	193 232 252 285	6.2.1 6.3.2.1 6.3.3.1 6.3.4.1		ed	装置には「光ファイバ」が含まれる。	b) 光ファイバ 表 1 による を追加する。	「b) 光ファイバ 表 1 による。」を追加します。
渋谷 隆 14	197 281	6.2.2 6.3.4.1		ed	「測定系」の用語が用いられている。	「試験系」に変更する。	「試験系」に変更します。
渋谷 隆 15	253	6.3.3.1		te	「被試験器の測定ダイナミックレンジの 1/2 以上の光減衰量の変幅をもち」は間違いではないか	「被試験器の測定ダイナミックレンジ以上の光減衰量の変幅をもち」に変更する。	被試験器の出射光が基準光反射器で反射され、再び被試験器に戻るまでに可変光減衰器を 2 回通過するため、可変光減衰器による損失（反射減衰量の増加分）は、その設定値の 2 倍 (dB

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。



コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6189</b>	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							単位) になります。従って、この文章は間違いではないので、現状通りでお願いします。
渋谷隆 16	253	6.3.3.1		te	「1/2 以上」は dB 単位又はリニア単位が分からない。	dB 単位又はリニア単位を明記する。	行番号 253 の 6.3.3.1 (a) の文章を、「~1/2 以上の光減衰量 (dB 単位) の可変幅をもち、~」と変更します。
渋谷隆 17	354	8		ed	「強度試験」だと光パワーの試験と誤解する可能性がある。	「機械的強度試験」に変更する。	「機械的強度試験」に変更します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6804</b>	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1		2.3 JIS 素案作成分科会		ed	主査は、鮫島氏ではないか？	主査を鮫島氏に修正する、	主査を「鮫島彰孝」に修正します。
渋谷隆 2	53	1		ed	IEC 60825-2 は、OFCSs と複数形を示す小文字の s が付いているが、この規格では、小文字の s を付ける必要はないか？	検討願います。	原案のまま単数形とします。  (理由) FSOCS は空間上の相互干渉を避けるため、システム同士は間隔を離して配置するため、安全性の評価は単数形での表現で概ね間違いではないと思料。
渋谷隆 3	563	4.4.4		ed	JIS C 6802 の附属書 JA が参照されている。年号を付与する必要がある。	年号の付与又は附属書 JA の題名を記載する。	「JIS C 6802:2014 の附属書 JA」に修正します。
山田 1	743	4.8.2		ed	本文章で、「危険領域」と記載されているのはこの文章のみです。203 で用いられる「危険な区域」が適切ではないでしょうか。	「危険な区域」に修正。	4.8.2 は「領域」のままとし、3.17 を「区域」→「領域」としたい (NHZ と同じ意味合い)。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6821</b>	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	192	4.2.7.1		ed	“序文”の題名を使って良いのか？	一般事項などへの変更を検討願います。	“一般”とします。
渋谷隆 2	205	4.2.7.2		ed	参考文献番号は、発出順序が適切ではないか？	参考文献番号の付与を再考願います。	番号の削除忘れです。削除する方向で進めます。
渋谷隆 3	207	4.2.7.2	図 1	ed	記号説明とするのが適当。	記号説明とする。	一部品を指した名称でないため、現状のままが最適と考えます。
					記号説明とする提案を撤回します。 ステージ 1 などの上にあるのが上向き波括弧であると認識しましたが、3つの波括弧が接触しているため、図と区別するのが難しくなっています。 ステージ 1、ステージ 2、ステージ 3 の表現は、別々に（独立）に動くこと誤認識される可能性がある。 ステージ 1 でいえば、“光ファイバ送出し領域”が名称で、“一定送出し”は、領域の機能の説明であると理解した。	記号説明とする提案を撤回します。 たとえば、ステージ 2 の上向き波括弧を下げて、ステージ 1 とステージ 3 の波括弧と接触しないように移動する。 ステージ 1、ステージ 2、ステージ 3 を削除する。 “XX 領域”の下の機能の説明を、丸括弧 ( ) にするか、フォントを小さくするなどし、領域名とその機能説明であることにすぐ認識できるように変更する。	ステージがあるとは別々のような印象を受けるので、削除します。XX 領域の下の説明は括弧をつけます。
渋谷隆 4	459	5.6.1		ed	JIS では極力能動態を用いる。	“を使用する”に変更する。	“を使用する”に変更します。
山田 1	180, 320, 333, 378, 451, 740, 751, 1006	4.2.5, 5.3.2, 5.3.3, 5.4.1, 5.6.1, 8.1, D.1		ed	文書内で光ファイバとファイバの 2 つの表現がある。「ファイバ」を、「光ファイバ」に変更した方が良いのではないかと思います。	「ファイバ」を「光ファイバ」に修正。	修正します。
山田 2	827		図 6	ed	数字と単位の間スペース挿入	100mm, 5mm → 100 mm, 5 mm (半角スペースを挿入)	修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6821</b>	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 3	989		図 C.1	ed	4桁数字の表記	3500 → 3 500	修正します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6837</b>	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	138	6.1.2.1		ed	JISC60068-1 の箇条番号が指定されているため、発行年の記載が必要。	発行年を記載する。	発行年を特定する必要がないため、西暦は記載せず、箇条の題名を記載しております（手引き第 20 版の資料 8 を参照ください。）

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6872</b>	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	93	7.1.1		ed	SOP が state of polarization の略語であることを示す。	SOP が state of polarization の略語であることを示す。	「出力偏光状態 (SOP : state of polarization)」に変更します。
渋谷隆 2	107	7.1.2.1.3		ed	波長板は、JIS C 5876 (位相子通則) の用語に合わせる。	波長板は、JIS C 5876 (位相子通則) の用語に合わせる。	次のとおり変更します。 <u>変更前</u> 偏光子を回転させても一定のパワーが光ファイバに入射するように、波長板 ( $\lambda/4$ リターダー) を用いなければならない。 <u>変更後</u> 偏光子を回転させても一定のパワーが光ファイバに入射するように、波長板 (四分の一波長板) を用いなければならない。
渋谷隆 3	165	7.1.3.1.2		ed	DFB の元の用語が記載されていない。	Distributed feed back を記載する。	「DFB レーザ (distributed feed back)」に変更します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。